

東日本大震災からの復旧・復興状況

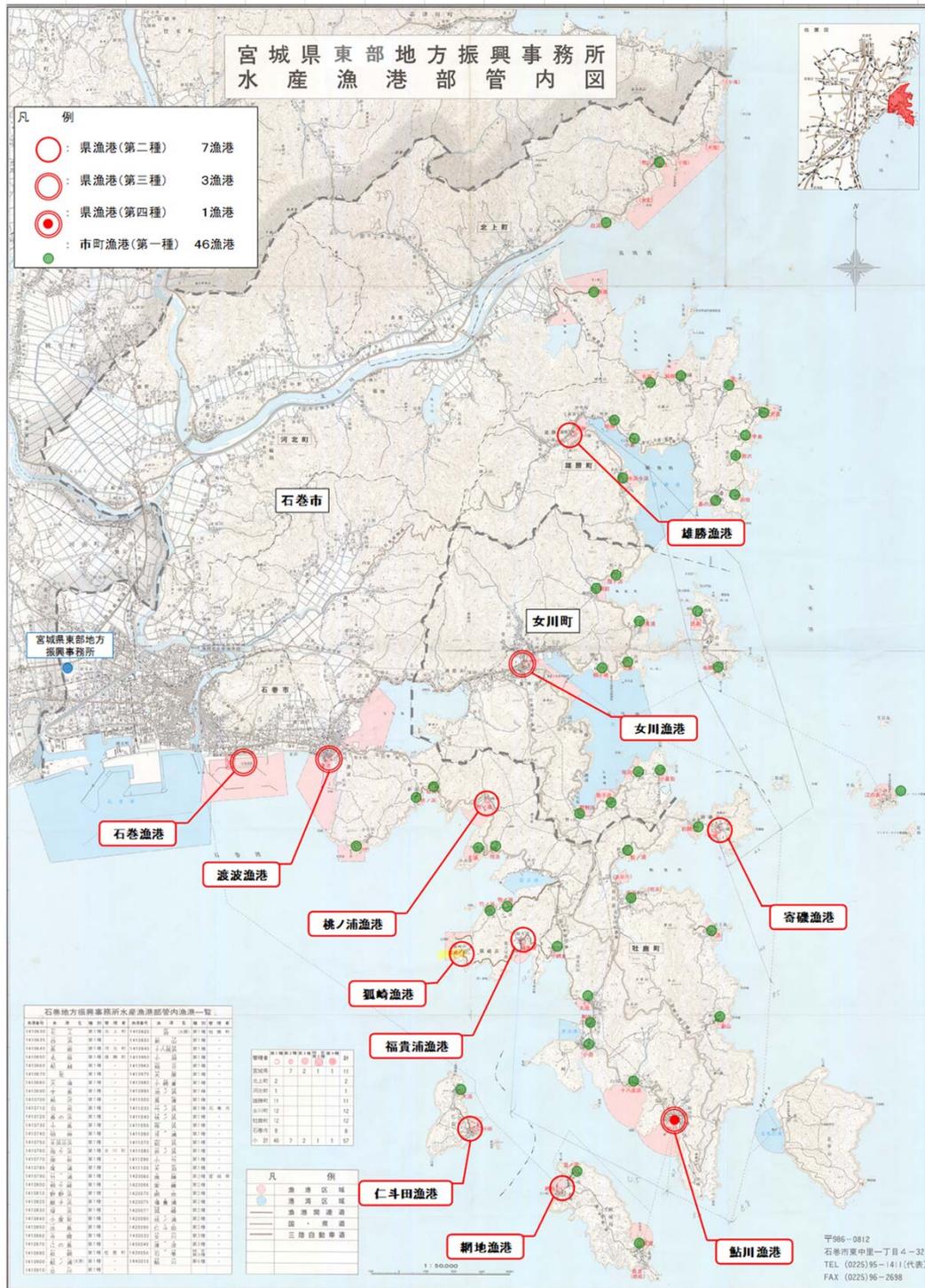


水揚げを待つまき網漁船(石巻漁港)

平成30年3月30日

宮城県東部地方振興事務所 水産漁港部

東部地方振興事務所管内の漁港



県	11漁港
石巻市	34漁港
女川町	12漁港
計	57漁港

県管理漁港(11漁港)
 石巻、女川、渡波、雄勝、寄磯、鮎川
 網地、福貴浦、狐崎、桃ノ浦、仁斗田

東北地方太平洋沖地震及び津波の発生状況

○地震発生日時

平成23年3月11日（金）
午後2時46分

○震央

三陸沖
（北緯38.1度、東経142.5度
牡鹿半島東南東約130km付近）

○震源の深さ

約24km

○規模

マグニチュード9.0

○最大震度

7（栗原市）

○津波の高さ

石巻市鮎川 8.6m以上（H23.6.3気象庁発表）
（参考）津波最大遡上高 女川町 34.7m
（宮城県土木部津波痕跡調査結果）

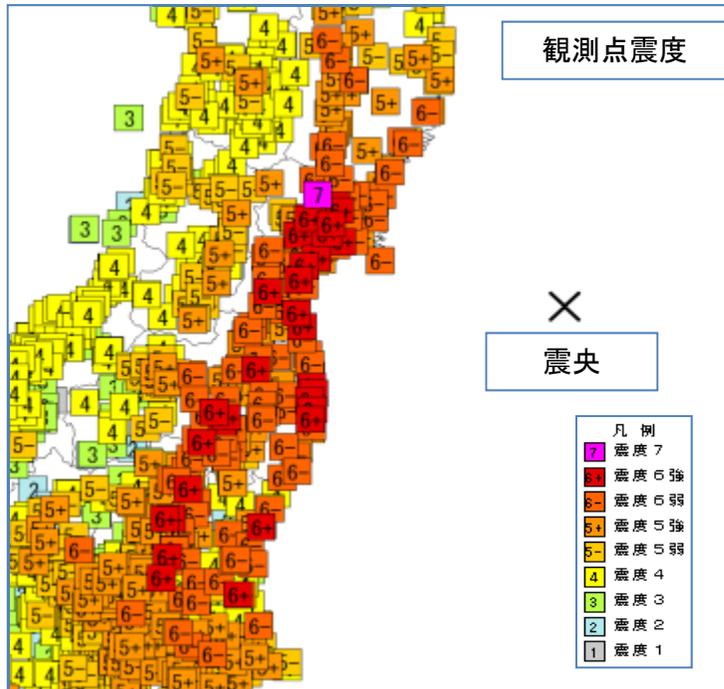
※最大で内陸 5kmまで津波が到達

※県土の4.5%に当たる327km²が浸水

○地盤沈下

海拔0m以下の面積 56km²（震災前の3.4倍）

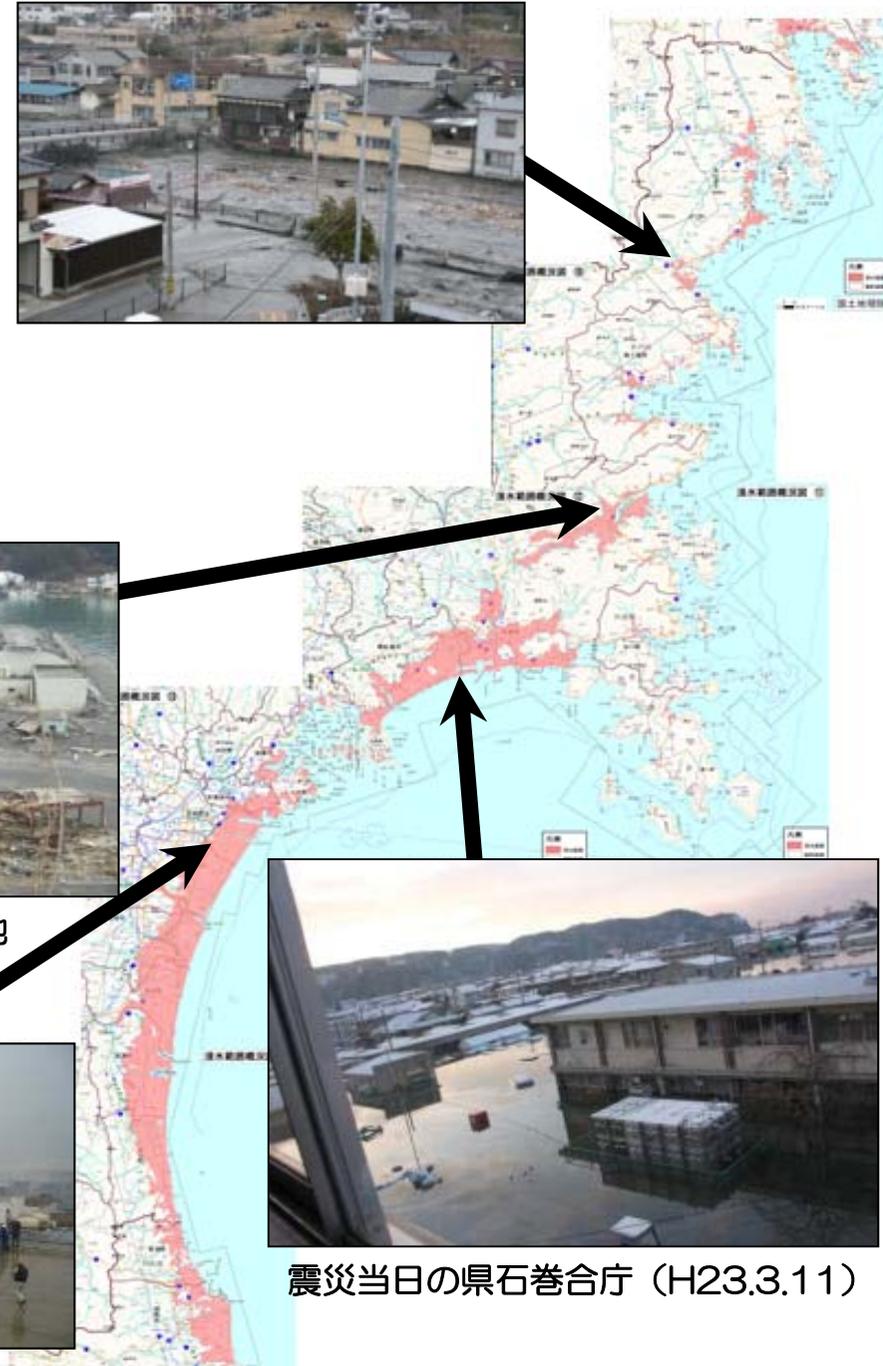
※石巻市牡鹿では上下方向で1.2mの地盤沈下
東南東方向に5.3m移動



水没した女川町の中心地



震災当日の県石巻合庁（H23.3.11）



水産関係被害の状況

水産業関連被害額 管内合計 3,127億円

県全体被害額（6,804億円）の46%

漁港施設

- ・漁港施設、海岸保全施設の損壊等
（管内全漁港：県管理11、市町管理46）

1,943億円 県全体（4,386億円）の44%

漁船等

- ・4,349隻の大破、滅失等

511億円 県全体（1,129億円）の45%

水産施設

- ・共同利用施設、流通加工施設等（275件）の損壊等

243億円 県全体（482億円）の50%

水産物等

- ・カキ、ホタテ、ワカメ、ギンザケ等（56千トン）の流失

207億円 県全体（332億円）の62%

養殖施設

- ・養殖施設（17,909台）の損壊、滅失

148億円 県全体（282億円）の52%

漁業用資材

- ・定置網（454ヶ統）、乾燥機等養殖用資機材（143件）
の損壊、滅失

75億円 県全体（193億円）の39%



石巻魚市場



女川魚市場



絡み合った養殖施設

「水産業の振興に関する基本的な計画」について

(H26. 10月策定)

「みやぎ海とさかなの県民条例」に基づき、県の「水産基本計画」を策定。
この計画に沿って本県水産業の復旧・復興に向けた施策を展開。

(震災直後は「宮城県水産業復興プラン」を策定(H23.10月)し、本県水産業の早期復旧を推進。)

■基本的な考え方

早期に復旧を遂げ、震災前以上に発展することができるよう、単なる「原形復旧」ではなく

「新たな水産業の創造」

を目指して、関係者が総力を結集し、我が県の水産業を抜本的に再構築。

■計画期間

H26年度～H32年度(7年間)

再生期
(4年間)

発展期
(3年間)

○「再生期」

水産業集積拠点や漁港整備の本格化、経営の安定化・効率化を推進。

○「発展期」

水産都市・漁港区域全体の活性化を推進。

■基本計画のポイント

(1) 水産業の早期再開に向けた支援

ガレキ撤去、漁船漁具の復旧、共同利用施設等の復旧整備を継続して実施。

(2) 水産業集積拠点・漁業拠点の再編整備

石巻漁港や女川漁港等を最重点漁港に位置づけ、水産業の集積拠点として再構築。併せて、被災した漁港全ての本格復旧を目指す。

(3) 競争力と魅力ある水産業の形成

①強い経営体の育成と後継者対策の強化

経営体モデルの検討、協業化・法人化の推進に加え後継者対策等を推進し、成長産業への転換を図る。

②水産都市の活力強化

漁業を中心とした産業の集積・高度化、ブランド化、水産物や水産加工品の情報発信や販路拡大の取組を強化。

(4) 安全・安心な生産・供給体制の整備

放射性物質の影響対応、検査結果の公表に努める衛生管理の高度化により安全・安心な水産物を供給。

水産業復興に係る主な支援事業（平成23～29年度）

1 漁港・漁村

漁港の復旧整備を進める。

- ・水産基盤整備災害復旧事業
- ・漁港施設機能強化事業

海岸保全施設の整備を進める。

- ・海岸保全施設整備事業

2 漁場・資源

漁場のガレキを撤去する。

- ・みやぎの漁場再生事業
- ・漁場生産力回復支援事業

水産資源の回復を図る。

- ・栽培漁業種苗放流支援事業
- ・水産環境整備事業

3 漁船漁業

漁船の建造、漁具の復旧を進める。

- ・小型漁船及び定置網共同化支援事業

4 養殖業

共同利用施設を復旧する。

- ・水産業共同利用施設復旧整備事業

養殖業の振興。

- ・養殖振興プラン推進事業
- ・IT技術を活用したギンザケ養殖高度化事業

5 流通加工

流通加工施設を整備する。

- ・水産物加工流通施設復旧整備事業
- ・中小企業等施設設備復旧支援事業
- ・中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業

加工原料を確保する。

- ・加工原料等安定確保支援事業

失った販路を回復する。

- ・水産都市活力強化対策支援事業
- ・水産加工業ビジネス復興支援費（新規）

人材を確保する。

- ・水産加工業人材確保支援事業

6 漁業経営

必要な資金を確保する。

- ・漁業近代化資金

漁業経営相談を実施する。

- ・漁業経営改善支援強化事業

担い手を確保・育成する。

- ・みやぎの漁業担い手確保育成支援事業（新規）

養殖生産の早期再開を支援する。

- ・がんばる養殖復興支援事業（※国予算）

7 原子力発電所事故による影響への対応

水産物の安全性を確保する。

- ・水産物安全確保対策事業
- ・水産物放射能対策事業

消費の回復を図る。

「食」ブランドを再生する。

- ・「食材王国みやぎ」魅力発信プロジェクト事業

漁港の復旧・復興状況①

災害復旧事業

石巻、女川漁港の港内のガレキ撤去や、岸壁、臨港道路等の応急復旧工事を平成23年度に実施

東日本大震災により被災した漁港施設、海岸保全施設の本格的な復旧に向け、県管理11漁港の災害復旧工事を平成24年1月から順次実施。平成32年度末までに全箇所の復旧をめざします。

平成27年度まで完了……寄磯、狐崎、網地の3漁港

平成29年度完了……鮎川、仁斗田の2漁港

平成30年度完了見込……渡波、福貴浦の2漁港

県管理漁港 11漁港全て着手済み (H30年2月末現在)

契約済み：224件 (契約率95.3%) / 約730億円 (契約率80.7%)

完 成：158件 (完成率67.2%) / 約433億円 (完成率47.9%)

災害復旧工事進捗状況(H30年2月末現在)

(単位:百万円)

管理者	漁港数	施設	査定		契約済み		完成済み		契約率(%)		完成率(%)	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
県 (東部管内)	11	漁港	216	70,743	211	62,815	155	43,065	97.7	88.8	71.8	60.9
		海岸	19	19,638	13	10,157	3	201	68.4	51.7	15.8	1.0
		計	235	90,381	224	72,972	158	43,266	95.3	80.7	67.2	47.9

災害復旧事業【石巻漁港】

石巻漁港



着手前



復旧完了



平成24年3月から工事着手していた「-7.0m岸壁」の復旧工事が完了。平成25年10月から供用を開始

着手前



復旧完了



平成24年12月から工事着手していた「-7.0m棧橋」の復旧工事が完了。平成28年10月から供用を開始

災害復旧事業【女川漁港】

女川漁港



着手前



復旧完了



女川魚市場前の宮ヶ崎岸壁の復旧工事が平成25年5月に完了し供用を開始。大型カツオ旋網船の入港が可能に。

着手前



復旧完了



小乗一1. 5m物揚場の復旧工事が平成26年3月に完了し供用を開始。

災害復旧事業【雄勝漁港】



防潮堤(T.P.9.7m)の復旧が進む雄勝漁港。拠点エリアの造成に関連する区間約250mの本体工事は平成30年3月末に完成。



平成30年3月撮影

災害復旧事業【渡波漁港】

渡波漁港 佐須浜地区復旧状況

着手前



復旧完了

H27. 1撮影

渡波漁港 塩富地区復旧状況

着手前



復旧完了

H26. 10撮影

災害復旧事業【女川・桃ノ浦漁港】

女川漁港 宮ヶ崎岸壁復旧状況

着手前



復旧完了

H26. 5撮影

桃ノ浦漁港 -2.0m物揚場復旧状況

着手前



復旧完了

H25. 7撮影

災害復旧事業【鮎川・寄磯漁港】

鮎川漁港 浜丁岸壁復旧状況

着手前



復旧完了



H25. 3撮影

寄磯漁港 -2.0m物揚場復旧状況

着手前



復旧完了



H26. 3撮影

災害復旧事業【福貴浦・狐崎漁港】

福貴浦漁港 鹿立物揚場復旧状況

着手前



復旧完了

H25. 12撮影

狐崎漁港 -2.0m物揚場復旧状況

着手前



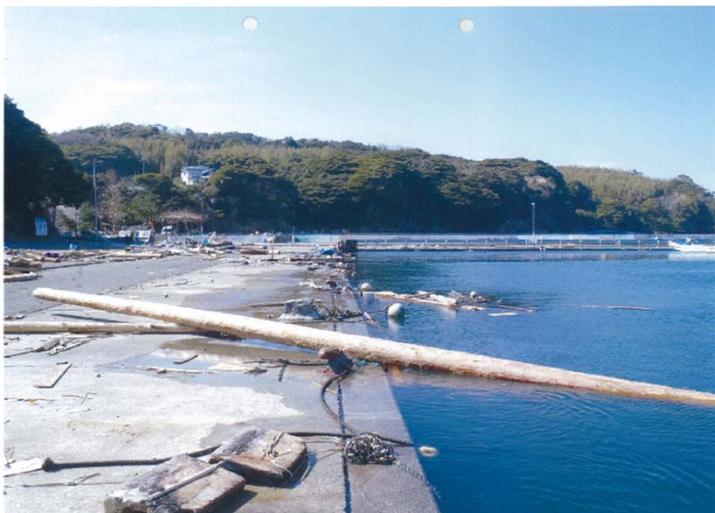
復旧完了

H25. 10撮影

災害復旧事業【仁斗田・網地漁港】

仁斗田漁港 -2.0m物揚場復旧状況

着手前



復旧完了



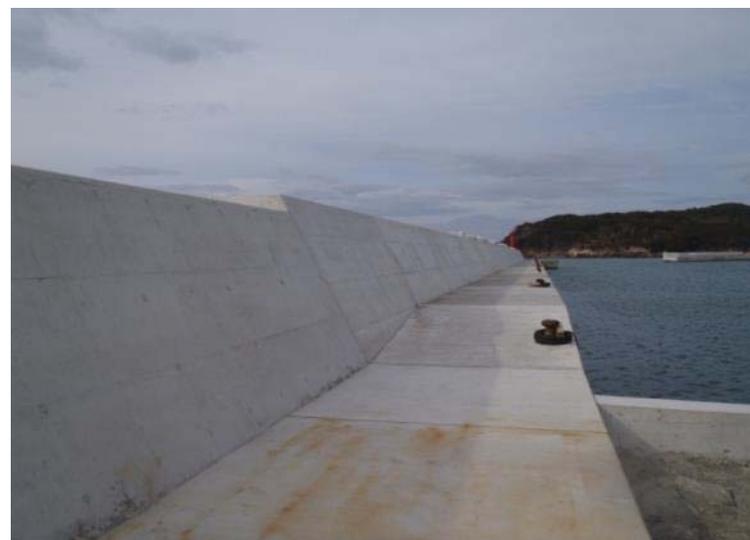
H25. 3撮影

網地漁港 -3.5m岸壁復旧状況

着手前



復旧完了



H26. 3撮影

漁港の復旧・復興状況②

用地の嵩上げ等(漁港施設機能強化事業)

災害復旧工事と連携して漁港背後地の用地嵩上げ、排水対策等の工事を実施。平成30年度末までに全箇所の整備完了をめざします。

県管理漁港の進捗状況(平成30年2月末現在)

11 漁港で実施

計画面積 392,709㎡

- ・契約済 342,337㎡ (契約率 87.2%)
- ・完成済 323,226㎡ (完成率 82.3%)



石巻魚市場加工団地の嵩上げ
(平成26年1月完了)

地盤沈下に合わせ0.3~1mの嵩上げを実施。

防潮堤の整備(海岸保全施設整備事業)

津波や高潮から国土や人命、財産等を守るため防潮堤の新設工事を実施。平成32年度末までに全箇所の整備完了をめざします。

県管理漁港の進捗状況(平成30年2月末現在)

7 漁港で実施

計画延長 11,233m

- ・契約済 8,483m (契約率 75.5%)
- ・完成済 3,576m (完成率 31.8%)



渡波漁港(祝田)海岸工事
平成26年12月撮影

震災による地盤沈下により、海岸線が民家近くまで迫った祝田地区。T.P.2.6mの防潮堤を整備。

漁港施設機能強化事業【石巻水産加工団地】

地盤沈下による冠水状況



排水ポンプ場建設状況(平成29年4月供用開始)



平成27年3月撮影



平成30年2月撮影

地盤嵩上げ



平成26年1月撮影

営業再開状況



平成26年6月撮影

海岸保全施設整備事業【石巻漁港】



平成29年8月撮影



平成29年4月撮影

防潮堤(T.P.3.1m)の整備が進む石巻漁港。石巻魚市場周辺の約1,400mが完成している。

海岸保全施設整備事業【狐崎漁港】



平成30年3月撮影

平成30年3月に延長147.8mの防潮堤(T.P.6.0m)整備が完了した狐崎漁港。

海岸保全施設整備事業【鮎川漁港】

平成30年2月撮影



防潮堤(T.P.6.0m)の整備が進む鮎川漁港。拠点エリアの造成に関連する区間約300mの本体工事は平成30年3月末に完成。